

2009年 2月 28日発行

③ 学童保育

今月 19日 (木) 20日 (金) の二日間、市内 6つの学童保育にお邪魔してきました。今、学童保育で何が問題になっているのかを自分の目で見て、自分の耳で聞きたい。そう思ったからです。



写真は八石小学校の学童保育「ひまわり」です。この日はお休みが多かったので空いています。普段は一つの空き教室に60名のこども達。具合の悪い子が休める場所はありません。校庭が見えない為、それだけ多くの目が必要になります。

③ 大規模学童問題

2月現在で新座市には17の学童保育室があります。そうです、市立の小学校の数だけ「学童保育室」はあるのです。そのうちの9つが70名を超える「大規模学童」となっています。埼玉県は「40人を限度とする」と基準を定め、厚生労働省は2010年4月時点で、71人以上の学童保育室には補助金を廃止するとしています。ところが須田市長はこの問題に後ろ向き。財政状況が悪いので、当面は国の補助を受けないでいく積もりだと議会で答弁しました。大規模を分離して、質のいい保育をしていくと、建設費や人件費がかかり市にとってはマイナスという判断をしたのです。

③ 肌で感じられる保育を！

ある学童の指導員の方のお話が心に残りました。それは「子供たちの数が50名を越えると、肌で感じられなくなります」質のいい保育をしたくてもできなくなってきます」という言葉でした。ある程度の人数を超えると、肌で感じられなくなる。空気に違和感がある。指導員としての経験がそれを感じるのだと思います。

③ 学童保育室からの要望

昨年7月に各学童保育室から市へ出された施設・設備等の改善要望は実に122項目にも上がりました。その中には「下駄箱が雨漏りするので屋根を直して。」と6年間訴え続けているが、改善されないというケースもあれば、「40名しか入らないところに60名の定員。そこに80名以上がいるのです。」という悲鳴も。新座市は「子育て応援都市にいざ」のはずです。スローガンだけで大型道路や区画整理には市民の税金を湯水のように遣う新座では困るのです。子育てを応援する学童保育室の役割は実に大きい。来年度の4月から100名を超えるところもあるそうです。子育てを本気で応援できる新座市にしていきたいものです。



写真は新堀小の学童「すみれ」。83名の児童でトイレが男女各1しかありません。(かも和式)

③ 3月議会は予算の議会

今月25日から3月議会がスタートしました。21年度の予算が審議される大切な議会です。市民のみなさんの税金が必要のない大型道路や新座駅の区画整理、観光都市づくりに使われていくのか、それとも教育や必要な福祉に使われるのかを審議する大切な議会です。

③ 観光都市に11億！

21年度の予算概要を見て驚きました。観光都市づくり事業」の総額が61事業で11億985万9千円だったからです。100年に一度の不況だというのに、呑気に観光都市づくりはないでしょう。

観光都市づくりで「税金を上げる」と須田市長は3年前から言い続けていますが、税金が増えたという話も雇用が増えたという話も聞きません。生活が苦しい市民の税金をこんなことにつかっていい訳がないのです。

③ ああ、東久留米・志木線

25日の会議で東久留米・志木線の完成が早くてもあと5年かかることが分かりました。16年から20年の5年で終わらせるはずの事業が最短で10年かかると言うのです。1440mに54億かけ、しかも10年間も地域住民を苦しめる。そして水道道路の先は無し。今でさえ、水道道路は渋滞しているというのに。そして5年後。「5年ではやりできませんでした。」という声が聞こえてくるかも知れない。ああ、もったいない僕らの税金。

③ 笑うか怒るか

怒るというより「笑っちゃう」と言った前総理がいましたが、笑っている場合ではない、怒らなくちゃ！」と僕は言いたい。40年以上前に計画された都市計画道路「保谷・朝霞線」もまた先の無い道路です。産業道路より先は無し日本は世界で突出した「道路大国」ですが、この未曾有の経済危機の状態でも道路を作り続け、借金を増やし続けたら日本に未来はありません。地元の猛反対を押し切っても計画道路を作っている国・県・市には怒らなくてははいけません。

③ 続川掃除



2月1日(日)の川掃除のメンバーです。五中の卒業生が4人。石神から1人。僕と合わせて全部で6人。毎月、少しずつメンバーが増えていくのは嬉しいことです。野火止用水でも毎月「美化ピカ隊」というチームが野火止用水の中に入り掃除をやっているそうです。掃除をすると「運氣」が上がるといいますが、確かに楽しいし、気持ちは良いし、爽やかな気持ちになります。この日は風が強い寒い日でしたが、それでもみんな笑顔一杯でした。お金をかけなくても新座市は綺麗になっていくんですね。

《お知らせ》

次回の川掃除は3月8日(日)の予定です。4月は5日(日)朝9時～1時、栗原一丁目公園集合です。途中参加も大歓迎です！トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。2004年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず「一人会派 語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「ほこ糸をつむぐ会」メンバー。「黒目川川づくり懇談会」「いざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106